

6月21日（水）に小中合同研修会1回目の授業研究を行いました。今回の授業研究を通して、小中を通じて授業の流れ、資料提示、交流の方法など共通認識することができたのではないのでしょうか。授業の成果や課題をぜひ次の授業につなげていきましょう。木下先生、今年度初めてとなる貴重な授業提案をありがとうございました。

令和5年6月21日（水）第6校時 第5学年 木下真弥教諭，山崎聖子教諭

**主題名** 困った人の身になって **内容項目** 親切，思いやり

**教材名** 「くすね落ちただんボール箱」 **出典** 東京書籍

親切って  
何だろう？

【協議会より】

<導入>

- ・事前アンケートの結果があることで、「親切についてもっと考える」という今日のめあてを意識しやすかった。

<資料提示>

- ◎段ボールを使った実演や先生達の役割読みなど、物語の中に引き込むための工夫が感じられた。
- ・主人公のした行動が親切であることをしっかりと押さえていた。

<主体的>

- ・物語の出来事というより、実際に自分の立場に置き換えて考えることができていた。

<ロイロノート>

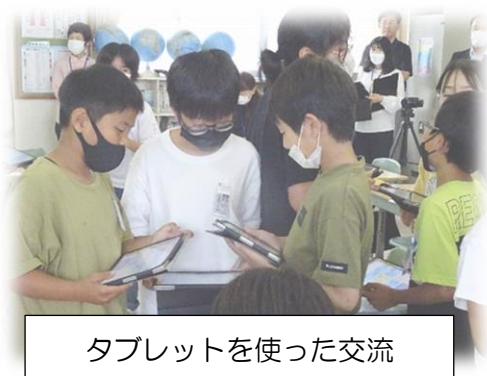
- ・付箋を色分けすることで、考えを比較しやすかった。考えを書く前に青か黄色か意見を聞いても良かったかもしれない。
- ・はっきり選べないという児童を大切にするためにはどうすればよいだろうか。
- ・ロイロノートとノートはどう使い分けたいのだろうか。

<ねらい・深める>

- ・最初は怒られるのがいやだからしなければ良かったと考えていた児童が、相手の自分のいい気持ちになるから自分も親切にしていきたいと考えていた。
- ・タブレットを用いての交流が長かったように感じる。中心発問でもっと揺さぶり、悩みながら考える姿をもっと見たい。
- ・最初の考えとの変化、他者の意見を聞いたあとの自分の気持ちの変容が感じられるようにしたい。
- ・児童の意見「親切にすることは場合によっては誤解され悪いこともある。」にどう切り返したら考えが深められたのだろうか。



具体物を使った提示



タブレットを使った交流

### <交流>

- ・まず自分の考えをもつ，その後友達の考えを聞いての自分の考えをさらに考え直すという流れはいい。
- ◎自分の意見に加えて友達の見解を聞いて思ったことを発表していた。友達の見解を聞こうとする意欲も高まり、発言した子うれしい。

### <ふりかえり>

- ・自己経験と重ね合わせながら振り返りまでいけるとよい。



役割読み



### 【指導助言】

○呉市教育委員会 岩城祥子指導主事より

- ・子どもの語彙力が豊富で一人一人に意見があり、平等に意見が言えるクラスであると感じた。
- ・各学年の発達段階に応じて、議論する姿を具体的にもつと良い。
- ・授業の振り返りについてある程度統一したものが学園であると良い。

○呉市教育委員会 小西篤子指導主事より

- ・聞く姿勢など学習規律がしっかりしている。
- ・教師の肯定的な声かけ、机間巡視やきめ細かな声かけがあった。
- ・子ども達の考えや発言と終末の先生方の説話が全てつながっていた。

○広島県教育委員会 藤井善貴指導主事より

- ・アンケートを活用して短い時間で課題意識をもたせていた。
- ・段ボールの具体物、挿絵、朗読の工夫などにより教材理解の支援となっていた。
- ・主発問は、前の段階でしっかり話し合っていたのでよく深まっていた。校長先生はなぜこの話を全校にしたのか？という発問で、親切が広がるということに気付くことができた。
- ・主題名（困った人の身になって）に立ち返ると、おばあちゃんの立場に立った発問、切り返しも考えられた。

### <今後の授業に取り入れること>

- ① 児童生徒が理解しやすく、興味もてるような資料提示を工夫すること。また、教材の中で、押さえておく必要があるところ、共感させる必要があるところなど丁寧に行うこと。
- ② まず自分の考えをもつ，その後交流を通して自分の考えを再構築できるようにすること。  
(最初の考えとの変化，他者の意見を聞いたあとの自分の気持ちの変容に気付くなど)
- ③ ②を他教科でも行い，話合う雰囲気や習慣を作ること。